



### 民進党 大島九州男（参議院議員）

原発が元々どういうところからはじまったかというと、大企業や、アメリカの思いの中からはじまったもので、国民のことを考えてやっているエネルギー政策ではないことは、皆さんが一番よくご存じであります。

我々政治家は、いろいろなことで気づきをいただいた時にすぐに行動して、国家・国民のために政策をやらなければなりません。我々はしっかりと、いろいろな問題から反省をして進んでいかなくてはなりません。私たちはしっかりと、国に、そして安倍さんに、「気づきをもって政治を変えていかなければならない」と訴えたいと思います。

ここにいらっしゃる皆さんとともに、これからも原発ゼロに向かって、本当の政治ができるようにがんばっていくことをお誓い申し上げて、ごあいさつにかえさせていただきます。最後までがんばりましょう。

### 社会民主党 福島みづほ（参議院議員）

今日は3月11日、東日本大震災が起きた日です。原発事故はいつも続いています。被爆も続いています。避難も続いています。皆さん、被災者の皆さんを本当に支える政治、そして脱原発を日本の政治で実現していくうではありませんか。

On  
The Road  
—Photo—



**Report 0311 原発ゼロ☆国会前大集会—福島・共に未来へ— 政治家・スピーチ集**

## いまこそ市民と野党の連携で脱原発＆安倍政権打倒を！

2018年3月11日に開催された首都圏反原発連合主催の国会前集会での、政党代表者によるスピーチをお届けします！「野党と市民の連携で脱原発を実現しよう」との呼びかけに、参加者も大きく応じ、一体感のある集会となりました。各政党から『原発ゼロ基本法案』の訴え、そして森友問題における安倍政権への批判が噴出しました。

昨年末に広島高裁で、火山ガイドに従って裁判所が運転差し止めを認めたのに、今度は規制委員会が火山ガイドを変えました。こんな規制委員会、原発推進でしかありません。

安倍内閣は国連人権理事会が被爆について勧告を出しても、聞こうとすらしません。イギリスに原発を輸出しようとし、再稼働を推進しています。

政治を、税金を私物化し、民主主義を踏みにじる安倍政権を、みんなの力で退陣させようではありませんか。それによって、脱原発が実現できます。力を合わせてがんばります。ありがとうございます。

### 日本共産党 志位和夫（衆議院議員）

\*藤野保史・衆議院議員、吉良よし子・参議院議員も一緒に登壇しました。

福島ではいまだに5万人以上の方が避難生活を強いられております。原発事故関連死は2200人を超え、震災の直接死をはるかに上回っています。ところが、安倍政権は原発再稼働のために被災者の支援を打ち切るという。こんな政治を許すわけにはまいりません。

共産党は立憲民主党、自由党、社民党の皆さんと一緒に『原発ゼロ基本法案』を国会に提出いたしました、ご苦労いただいた政党の皆さん、『原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟』の皆さん、この6年間、毎週金曜日、原発ゼロ、再稼働反対を訴え続けてきた『首都圏反原発連合』の皆さんに、心からの敬意を申し上げたいと思います。

どんな世論調査をやっても、再稼働反対は5~6割に絶対に達するんです。この法案は国民多数の声に立ったものだと確信いたします。みんなの力で実現しようではありませんか。



**NO NUKES! ENERGY AUTONOMY!**

スピーチ全文はこちらでご覧いただけます  
<http://coalitionagainstnukes.jp/?p=10874>  
\*スピーチは登壇順に掲載しています。  
(集会に到着した順番でご登壇いただきました)



と申しております。

なんといたしましても、安倍政権を引きずり下ろしましょう。それが、脱原発を達成する最大の方法であると思います。皆さんと一緒にがんばっていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

### 立憲民主党 菅直人（衆議院議員）

\*大河原雅子・衆議院議員、山崎誠衆議院議員も一緒に登壇しました。

先日、安倍総理と原発ゼロについて議論しましたが、安倍さんは「原発ゼロと言うのは、無責任な政策だ」と言いました。安倍さんは3つのことを言いました。「原発は一番安い」「原発が一番環境にいい」「原発は自給するエネルギーだ」と言いました。とんでもない。一番よいエネルギーは再生可能エネルギーですね。

今回、4党以外にも、無所属の代議士が『原発ゼロ基本法案』の賛成者になってくれたんですよ。本当は、もしかしたら自民党の中にだつて賛成者になりたい国会議員がいるんですよ。しかし、発言ができないんですね。

皆さんの地元の自民党や公明党の議員に「あなた、本当はどっちなの？」と迫ってみてくださいよ。創価学会の文書には「原発はなくす」と書いてあるんですよ。連合の文書にも書いてあります。「書いた以上はちゃんと行動しましょう。それが有権者に対する責任じゃないですか」と、訴えてみましょう。

今年から来年にかけて、本当に原発ゼロを実現する1年にします。そして、来年の参議院選挙に向けて皆さんと一緒にがんばることをお約束して、訴えとさせてもらいます。がんばりましょう。

### 希望の党 柿沢未途（衆議院議員）

「エネルギー政策の転換は日本の国の未来のためだ」、こういう思いで政策を追求させていただいている。日本が自然エネルギー100%でやっていける未来を、1日も早くつくりたい。

世界の潮流は脱原発・自然エネルギー推進です。原発や石炭火力に依存しているようなエネルギー政策をやっていたら、世界の名だたるグローバル企業からそっぽを向かれて、日本の経済は沈没してしまいます。

そうした未来がわかっているながら、経済界のため、原発依存を続けたい一部の皆さんの利益のために、日本の未来を閉ざしているのが、安倍政権の政策ではありませんか。

原発ゼロ、自然エネルギー立国を実現しようという、大きなうねりが起きはじめている。ぜひ、世界の流れに負けないように、日本もがんばっていこうではありませんか。皆さん、がんばりましょう。

### 自由党 野沢哲夫（東京都第1区総支部長）

\*自由党・小沢一郎代表からのメッセージ「東日本大震災から7年を迎えて」を代読の後、野沢支部長のスピーチがありました。

安倍政権は原発推進政策を変えようとしていません。それに対して『原発ゼロ基本法案』を国会に提出しました。この法案を必ず実現したいと思います。

「脱原発」を旗印に、来年の参議院議員選挙を野党共闘でやれば、必ず、政権交代が見えてくると思います。小沢代表は「野党共闘で70~80議席はとれる。比例で20議席、1人区では32議席のうち30議席すべてとれるだろう。そして複数区で20~30議席とれる」

## Walk and Talk it 夢破れた原子力の平和利用 — 楽曲『Hymn to The Fukushima 50』



- (1) <https://goo.gl/5nAdJX>
- (2) <https://goo.gl/hZQNP1>
- (3) <https://goo.gl/aWr8rY>

forgotten future=Julius Dobosの楽曲【Hymn to The Fukushima 50 - a Tribute】(1)は2011年3月公開された。その後Dobosは次のように書いている。(2)

【私の祖母は Chernobyl直後に亡くなった。この悲劇にも関わらず恥知らずなことに私は、原子炉や粒子加速器などに魅了されてきた。私は(この曲で)放射能が聞こえるようにしたかった。ラン、ガンマ線、アルファ粒子に音楽性を与えたかった】

他の「Fukushima 50」に捧げられた楽曲と同様に、Dobosの楽曲は英雄賞賛として情緒的に彩

られているともいえるのだが、Dobosの「放射能の可聴化」により過剰にドラマチックとなる事が避けられている。その「音」を耳にしながら、「エネルギー基本計画」の改善を求める世論を抑えるかのように、2/22に資源エネルギー庁がwebサイトに公開した【日本における原子力の平和利用のこれまでとこれから】の頁(3)を読むと、Dobosのような、「平和利用」がかなわず破れてしまった「科学少年少女達の夢」の実像に触れる事が、あなたにもできるかもしれない。(TH)



## RECORD THE POWER OF THE PEOPLE!



参加人数  
14000人

### 2012年3月11日(日) 3.11 東京大行進 — 追悼と脱原発への誓いを新たに —

2012年3月11日、まだ『金曜官邸前抗議』が始まる前、反原連は初めて国会周辺での行動を呼びかけました。日比谷公園出発のデモのあと、14000人が国会包囲をしました。参加者に配られたキャンドルの灯りが夕暮れに浮かび、震災と原発事故の被害者の方々への追悼とともに、脱原発実現への決意を新たにしました。反原連ではこの時の運営の経験が、同年3月29日の初めての官邸前抗議呼びかけへの力になりました。



### 編集後記

森友・加計問題で大揺れに揺れる安倍政権。原発をなくすためにも安倍政権にはお引き取りいただきたいと願い続けている私たちも、さらに抗議に力が入る今日この頃です。

震撼する政権は世論を意識してか『エネルギー基本計画』見直し提案で、「原発はCO<sub>2</sub>をなくす脱炭素社会実現のための「選択肢」として維持」と弱腰に。CO<sub>2</sub>問題を利用しないでいただきたいし、もうこんな事しか言えないわけです。原発ゼロは世界の常識！